

# 大会名称: 第73回国民体育大会 バスケットボール競技会 (福井しあわせ元気国体2018 バスケットボール競技会)

開催場所: 永平寺緑の村ふれあいセンター Aコート

試合区分: No. 10 成年男子 準決勝

期　　日：2018(H30)年10月3日（水）

開始時間：11:55

終了時間: 13:25



主審: 大谷 英紀(広島県)

第1副審: 小澤 勤(群馬県)

第2副審：丸山 大（新潟県）

福岡 (九州)	○ 70	22 — 14 8 — 25 19 — 10 21 — 11 — — —	● 60	埼玉 (関東)
------------	---------	--	---------	------------

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。福岡の#11の積極的な攻撃で序盤は10-5とリードする。埼玉は#12のポストプレー等で得点を重ねるも差は縮まらず22-14で終了。

第2ビリオドの序盤はお互いに点を取り合う展開が続き、残り5分で30対25と福岡がリードする。ところが、その後の5分間福岡のシュートが入らずことごとくノーゴールとなる。埼玉は勢いに乗り、残り2分に逆転すると、#5の3ポイントなどで一気に引き離し、30-39と9点リードして終了。

第3ピリオドは福岡#5の3ポイントシュートから始まると、リードガード#11のゲームコントロールが冴え、速攻も決まりだして点の取り合いになる。終盤になると突然埼玉のリズムが狂い出し、49点から3分間ノーゴールとなる。その間に#14のフリースローや#12のミドルシュートで同点に追いつき49-49で終了。

第4ピリオドも福岡のリズムは続き#6の3ポイントシュート、#5のジャンプシュートで得点を重ねる。その間埼玉は3分間ノーゴール。終盤#7の3ポイントシュートで必死に追い上げを試みるが、福岡のリードガード#11が絶妙のアシストパスを連発し、70-60で試合終了。果敢に戦った埼玉県の粘りも称えたい。

担当者:石本 卓未((一社)福井県バスケットボール協会)

(公財)日本体育協会、(公財)日本バスケットボール協会、(一社)福井県バスケットボール協会

